

●はじめに

日頃から格別のお引き立てを賜りまして厚く御礼申し上げます。
このドキュメントには、DataNature Smart Personal の動作環境、追加された機能、変更点、注意点を記載していますのでご一読ください。

●商標

記載の商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

システムの稼動条件

●OS

Windows10 ※1

Windows 8.1 ※1

Windows 8 ※1

Windows 7

Windows Vista(SP1 以上)

●メモリ

推奨 4GB 以上(最低 2GB 以上)

●HD 容量

1GB 以上の空き容量(インストール時)

●ディスプレイ

1024×768 ドット以上

●必要なソフトウェア

Microsoft .NET Framework 4.5 (SP1 以上)

※1：タッチパネルでの操作には非対応です。

3.0.1 で追加された機能・変更点・注意点

■動作確認

- ・ Windows10 で動作確認を行いました。

■不具合対応

●ボタン分析

- ・ DataNature Smart フォルダにあるデータファイルを読み込み、選択データの出力時、付加情報としてデータファイル名称を選択すると、中間ファイルのファイル名 (パス) が出力されてしまう不具合に対応しました。

●クロス集計表

- ・ クロス集計表で、対象データがない状態で上部にある集計数値をクリックするとエラーになる不具合に対応しました。
- ・ クロス集計表の標準テンプレート実行時、列幅が自動調整されない不具合に対応しました。
- ・ クロス集計表の標準テンプレート実行後、表示サイズを 85%に変更すると行合計欄の値

が見切れてしまう不具合に対応しました。

- クロス集計表で、列幅自動調整 ON の設定としているにもかかわらず、集計値セルの集計値が見切れてしまう不具合に対応しました。
- クロス集計表で、列幅自動調整 OFF の設定に変更すると、集計項目の幅が狭くなってしまいう不具合に対応しました。
- クロス集計表で、次へ検索の後、前へ検索を実行すると「最後まで検索しました」のメッセージが表示されず、ループしてしまう不具合に対応しました。
- 表組みの「一括展開表示で開始する。」にチェックを入れたクロス集計表のテンプレートを別のデータで実行すると、登録時になかったデータの行/列の階層が閉じた状態で表示されてしまう不具合に対応しました。
- 期間日付を含むクロス集計表で、「項目名を出力する」設定で Excel ファイル出力すると、エラーが発生する不具合に対応しました。
- クロス集計表で、「データと書式を出力する」設定で Excel ファイル出力すると、左上（行項目名、列項目名）の上計算が出力されない不具合に対応しました。
- クロス集計表で、「開始位置」を A 列以外を設定して Excel ファイル出力すると、列幅自動の調整位置がずれてしまう不具合に対応しました。

● リスト集計表

- リスト集計表から表示したグラフ（全画面表示のもの）のテンプレート実行後、別のリスト集計表のテンプレートを実行すると列幅自動が効いていない不具合に対応しました。
- リスト集計表から Excel ファイル出力時に、A 列以外を開始位置として指定するとエラーが発生する不具合に対応しました。

● 集計表共通

- データセクターを特定の幅で設定したテンプレートを実行すると、データセクターの上部が欠けて表示される不具合に対応しました。
- Excel ファイル出力で、シートの保護がかかった状態で出力されてしまう不具合に対応しました。
- Excel ファイル出力で、xlsx 形式で出力しているにもかかわらず、65,536 行でレコードが切られてしまう不具合に対応しました。

● その他

- ようこそ画面のデータファイルを開くダイアログで DataNature Smart フォルダ内の CSV ファイルを開いた後、読み込み履歴から ecov ファイルが読み込めない不具合に対応しました。
- ログイン情報を設定したパラメーターファイル (*.xdnp) を同一端末から複数起動すると、ログインに失敗した旨のエラーメッセージが表示される不具合に対応しました。